

N 部門

(知的障害教育部門)

分類されない各種の教材

教員作成教材ガイド



平成28年度

東京都立鹿本学園

目次

- 「歩行手形」
- 「マッチングしよう！」
- 「コースターが作れる段ボール枠」
- 「段ボール枠を使って自分で描こう」
- 「的当て」
- 「登山電車を動かそう」
- 「ずりおち防止テープ」
- 「野菜の気持ち」

歩行手形

～もう「急いで！」って言わない～

対象児童・生徒

歩行時などに前の人を意識することができず、前との間隔をつめて歩くことが難しい児童・生徒

N 小1 自閉症学級

太田ステージ II



ねらい

- ・自分の前の人を意識できるようにする。
- ・自分から前との間隔をつめて歩くことができるようにする。

ポイント

- ①ひもの端の部分をつなぐことで、使用者の体に合わせて調整が可能になっている。
- ②手形は目に優しい暖色の、思わず触れてみたくなるオレンジ色になっている。

教材の使い方 (指導方法)

①手形部分が背中にくるようにたすきがけにする。



②歩行時に前との間隔があいたら「タッチして」と言葉をかける。

④前との間隔がつまり、列が整う。

③児童・生徒が手形にタッチする。



上の流れを繰り返すことで、前の人を意識し、自主的に間隔をつめて歩けるようになる！！

マッチングしよう！ 自分で確認しよう

対象児童・生徒

自閉症学級
言葉をコミュニケーションの手段として
使える児童である
絵を見てその単語はわかるが、一音ずつ
の表記はまだ難しい。
チップ作りでは、児童が意欲的に磁石を
貼り付け、集中して仕上げた。
実態に応じて、どの段階の児童にも対応
できる課題である。

N 小6

太田ステージ II



ねらい

- ・目と手の協応
- ・対応弁別
- ・作業の継続
- ・参照と照合

台紙に合わせて緑の枠の中に、
チップを入れていく課題です。
全部できあがったら、裏に入れ
てあった課題の台紙を引き出
し、合わせながら配置を確認し
ていきます。この台紙には、動
物のマッチングやひらがな、カ
タカナを配置して練習していく
課題も準備してあります。

教材の使い方 (指導方法)



①色、絵、ひらがな、
カタカナなどの台紙を
実態に応じて選ぶ



②台紙に応じて、そ
のチップを選ぶ



③台紙を緑枠には
さみ、チップを入れ
ていく。



④できあがったら、
台紙を引き出し、合
わせながら配置を
確認する。

コースターが作れる 簡単ダンボール枠

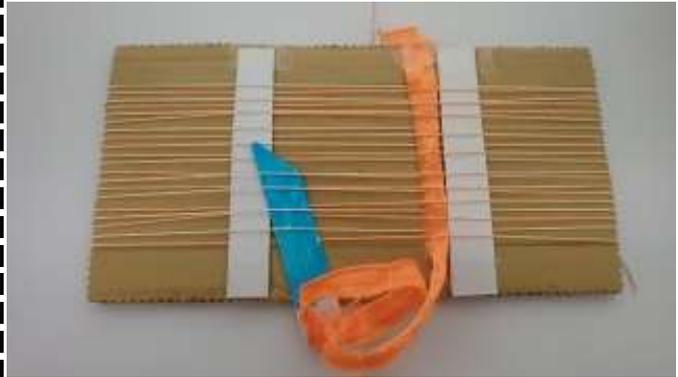
対象児童・生徒

・指先の操作性を高めることが課題となる児童

・簡単な繰り返し作業を理解し取り組むことができる児童

N 小4 程度・重複学習

太田ステージ 1 ~



ねらい

・簡単な工程の作業に慣れ、手指の操作性の向上を図る。

作り方：①縦30cm×横15cmのダンボールを準備する。②中央10cm角の線を引く。③たこ糸を20回ダンボールに巻く。④たこ糸に交互に色を塗る。

工夫：身近な材料で簡単に作れる。たこ糸に交互に色をつけ通す糸を分かりやすくした。また、30分程度でできる作品の大きさにし枠のサイズを考えた。

教材の使い方 (指導方法)

- ①布を裂く担当と織りあげる担当に分かれる。
- ②布グループは切れ目を入れた布を裂く。
- ③織りあげるグループは手順を教員と確認しあいながら織り進める。
- ④好きな色の布を選びながら最後まで織り、最後にたこ糸を切り2本ずつ結び出来上がり。

※ご家族にプレゼント！そして、慣れてきたら足ふきマットなどの大作に挑戦！

段ボール枠を使って自分で描こう

対象児童・生徒

- ・絵の具やクレヨンで色塗りをするときには枠を意識することが難しく、はみ出して描いてしまう児童
- ・画用紙を切った枠では、その画用紙を破いてしまいがちな児童

N 小5 知的障害学級

太田ステージ I ~ II



こちらの段ボール枠の大きさ 外枠と内枠の間の幅 5cm
外枠 縦31cm×横25cm 内枠 縦21cm×横15cm

ねらい

- ・教員が手をとって支援することを控えて、児童が自分の力で描く楽しさを味わうこと

【作り方】

- ①段ボールを切る。
- ②断面をボンドでくっつける。
- ③ガムテープで補強する。

【使ってみての感想】

- ・児童が描く達成感があった。
- ・枠の側面に高さがあるので、筆が枠の外に出ていきにくい。
- ・描くところが理解しやすい。

教材の使い方 (指導方法)

【図工の色塗りの時間に使用】

- ①描いて欲しいところに段ボール枠を置く。
- ②段ボール枠が動かないように児童の非利き手で段ボール枠を押さえる。
- ③描く。

的当て ～投げて数えよう～

対象児童・生徒

具体物の操作を通して数の学習をする

N 中1

太田ステージ II III-1



ねらい

目標に向かってボールをねらって投げることができる。
具体物を操作して、3～10の数を数えることができる。

- ・できるだけ当たると付きやすくした。
- ・教室のホワイトボードなど、普段の授業や活動場面で設置しやすいようにした。

教材の使い方 (指導方法)

ボールを投げて的に当てる。
セラピーボールに座って投げる、ボールをキャッチして投げるなど、
運動の難易度を上げる。

登山電車を動かそう ～フニクリフニクラを歌おう～

対象児童・生徒

どんな児童・生徒でもOK！

N

太田ステージ I ~ IV以上



ねらい

- ・フニクリフニクラの歌のイメージをつかむ。
- ・2拍子を身体の感覚でつかむ。

- ・扱いやすさと安全面を考え、ティッシュ箱を使用しました。
- ・目を引くように赤で作りました。
- ・紐を持つ部分を輪にしました。



教材の使い方 (指導方法)

♪いこう いこう 火の山へ～♪
歌を歌いながら、拍子に合わせて紐を交互に引きます。
えっちらおっちら上へ登っていく登山電車を見て、歌の内容のイメージをつかむことができます。

ずいおち防止テープ ～カフェエプロン用～

対象児童・生徒

■中学部の作業学習カフェ班で着用しているエプロン。体型的に痩せている生徒や、小柄な生徒などがテープ付エプロンを着用する。

N 中1 知的障害学級

太田ステージ I ~ IV以上



ねらい

エプロンの肩紐が落ちないようにして、お客さんからの見栄えをよくし、作業効率が良くなるようにした。

■カフェ班のエプロンは茶色と紺色の2色あり、小柄な生徒用に両方の色を準備した。

■茶色のエプロンには茶色のテープ、紺色のエプロンには紺色のテープを付けて統一感をもたせた。

教材の使い方 (指導方法)

■痩せ型や小柄な生徒が着用し、背中中のテープをボタンでとめる。

■自分でボタンを留められない位置なので、友達同士で協力してボタンの留めあいつこができるように指導している。

■茶色と紺色の2色とも準備した。テープとエプロンの色に統一感をもたせて、目立たないようにした。



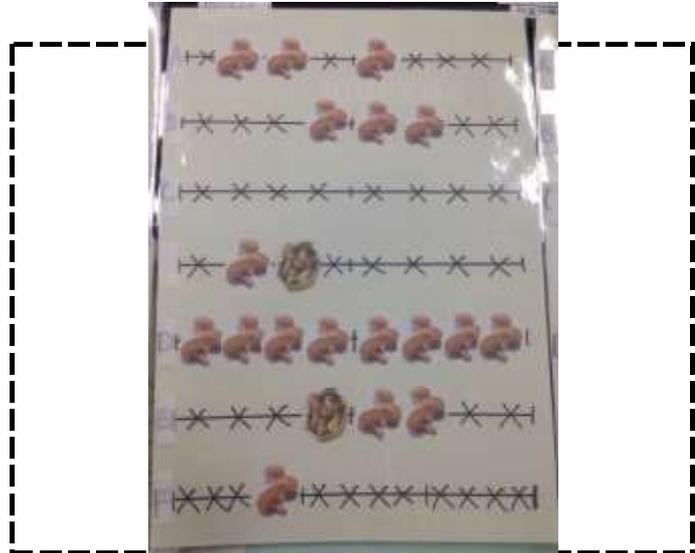
野菜の気持ち ～ボイスパーカッションに挑戦しよう～

対象児童・生徒

- ・ 自閉症学級の18名を対象とした音楽の授業で使用している教材です。
- ・ 斉唱をすることはできるが、複数の声部に分かれて合唱をするのはやや難しいと考えられる集団です。

N 中3 自閉症学級

太田ステージ



ねらい

- ・ 音程に左右されないボイスパーカッションに取り組むことで、複数の声部で成り立つ合唱の面白さを知ってほしい。



- ・ 上のような楽譜で書かれていたのを、より視覚的にわかりやすいよう写真を使って作成した。
- ・ 総譜ではなくパート毎に分けた。

教材の使い方 (指導方法)

- ・ 作成した楽譜を使用して4パートに分かれての練習を行う。
- ・ 各パートでスムーズに声が出せるようになってきたら2つのパートで合わせたり全体で合わせたり、場合によっては各パートの代表同士で合わせるなどの取り組みを行う。
- ・ 楽譜の左端にはマジックテープが着くようになっているので強弱を表すカードを貼ることができる。今後は強弱を意識して声を出したり、自分で強弱を考えてカードを貼るなどの活動も行っていきたい。

